広島大学公開講座

主催：広島大学産学・地域連携センター・エクステンションセンター
後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会

「イノベーティブ企業家」ご案内

受講者募集

定員：50名
対象：学生及び一般

参加無料

開催日時：平成28年12月8日（木）～平成29年2月2日（木）　18：10～19：40
開催場所：広島大学工学部 117講義室

本公開講座は本年度で9年目を迎えます。酒都と呼ばれている東広島市の地元の代表企業である白牡丹酒造㈱のものづくりの技術経営をはじめ、グローバル企業であるマツダの技術開発とユニークな世界戦略の展開、企業経営におけるイノベーションの生成と発展プロセスの分析及び、コマツや石川島播磨重工などの事例研究等を通じて、企業経営の本質と最先端な企業経営の実践について学びます。また、企業経営における技術の位置づけや製品開発と地方創生の関連など企業経営の最新話題を学習する機会を提供します。

◎ガイダンス、全体概要と開講の主旨　工学研究院　特任教授　伊藤孝夫
産学・地域連携センター長　橋本律男

酒造技術の工業化に対する一企業の取組み

白牡丹酒造株式会社 社長
島　治正

12/8

酒造業は地域性を有する伝統的醗酵産業の一つに挙げられます。味＝品質を念頭においた工業化に対する取り組みについて、昔ながらの酒造りの技術的視点からの知見をもとにした機械化の取り組みについて解説します。

マツダの技術開発と企業経営の歴史
～ひろしまで生まれ育った自動車メーカーのベンチャーマインド～

12/19

マツダ株式会社広報本部
グローバル広報企画部
植月　真一郎

広島で創業し、2020年に創立100周年を迎えるマツダ。自動車メーカーとしては決して規模が大きくないマツダが、いかにして独自の技術を生み出し、生き残りをかけて企業経営を行ってきたのか。広島で生まれ育った企業ならではのベンチャーマインドをその歴史を紐解きながら解説する。

技術戦略とイノベーション

中村学園大学流通科学部 教授
山田　啓一

2017
1/16

本講義では、イノベーションを実現するための技術戦略について、イノベーションの機会、イノベーションの普及過程、イノベーションのジレンマと解、ブルーオーシャン戦略、企業内起業というテーマを通して考察を行う。

事業戦略と製品開発・提携開発の事例研究

2/2

京都大学経営管理大学院 教授
若林　直樹

近年、コマツや石川島播磨重工などの多くのメーカーが、顧客に対する製品関連のアフターサービス（グローバルな自動機器診断システムなど）を充実させて、競争力を構築する例が増えてきた。こうした製造業のサービス化による競争戦略の強みを論じたい。

お問い合わせ先・申込み先：広島大学産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門　VBL Office
メール：office@vbl.hiroshima-u.ac.jp　　電話：082-424-7880